

荒尾市水道ビジョン（素案）に関するご意見の内容及び対応方針

1. 意見募集期間 平成30年7月1日（日曜）から 平成30年7月31日（火曜）まで
2. 意見提出件数 10件（提出者：1人）

No	ページ	ご意見等の内容	ご意見に対する市の考え方
1	p35	計画的な施設更新が「C」評価であるが課題解消が何故出来なかったのか、原因究明なくして今後の取り組みは進まない、原因はなにか。	主要施設の耐震診断、及び劣化診断までは行いましたが、人材不足、資金面から先延ばしとなっていました。更新計画の不十分さ、老朽化した水道管の更新も計画通りに推移していなかったことにより「C」評価と判断しました。
2	p47	給水人口の2行目「4.3 財政状況の見通し」参照とあるが、「4.8」(P68)ではないか。	修正します。
3	p48	水道施設の効率性は、配水区施設ごとの人口減少の推移、給水人口と配水量の把握が必要ではないか。	各配水区毎の配水量は把握しており、原水の水量、水質等を勘案し常に適切な配水区割りの変更を行っています。
4	p48	更新需要の見通しについて、アセットマネジメントが明らかになったとき、内容と今後の対策を公表して市民の意見を聞いてほしい。	アセットマネジメントの結果を受け、今後の適正な水道料金のあり方を上下水道事業運営審議会へ諮っていく予定であり、利用者向けの広報活動も併せて行います。

No	ページ	ご意見等の内容	ご意見に対する市の考え方
5	P52	中央配水区の No1 から No3 までの統合には疑問がある。大型 1 か所ではトラブルリスクが大きい、分散分離が良い、人口減に伴なう縮小にも対応可能です。配水区の相互融通は、最優先課題と思う。施設の効率性にも適う。	中央配水区における屋形山配水地は N01 から N05 までの 5 池あり、特に老朽化が進んでいる No1 から No3 までを施設の管理面から総合的に判断し 1 池にする計画であり、すべてを 1 つの池に集約する計画ではありません。
6	P56	原水の水質検査の強化を望む。菊池川には、農薬残留水、家庭用洗剤排水などが混入しているものと思う。	菊池川原水につきましては、大牟田市との共同管理を行い、浄水場に至っても毒物感知などの水質監視体制は厳重に行っています。
7	P59	施設・設備には耐用年数があり、その更新は当初から考えられる。更新と経費は計画性をもち運営するのが経営ではないか。計画的な経営に油断があったのではないか。	旧ビジョンの振り返りにおいて、更新計画が機能していなかった反省材料です。今後は策定するアセットマネジメントの計画に則った経営を行っていきます。
8	P60	水道料金は、6割弱の人が高いと感じている。値上げには十分な時間と理解を求める必要がある。	意見 N04 同様、早めの広報活動を行っていきます。
9	P60	水道料金について、P. 67 のスケジュールでは、審議会運営が 2022 年と 2023 年になっているが、収益的収支は 21 年度は赤字、内部保留金も危険区域にある。審議会は 2020 年度にも運営すべきでは。	ご指摘のとおり最新の収支計画では 2021 年度には赤字になる見込みであり、現時点ではその次期に審議会運営を行う計画に修正します。収支状況によって前後する可能性もあります。

No	ページ	ご意見等の内容	ご意見に対する市の考え方
10	P65	<p>官民のパートナーシップについて、民間活用が時代の流れとして進むようですが、事業者としては管理監督の責任は増すものです。</p> <p>①委託先の施設の維持管理、人材確保の点検確認体制はどうか。</p> <p>②技術者の資格の保有者数、資格者の定着率の把握などは毎年出来ているのか。</p> <p>③将来収入減により、民間事業の縮小が予想されるが、その中で技術者の確保が保てるのか疑問です。</p> <p>④委託になり民間企業の管理者や投資者の経費も市民の水道料金でまかなっている。委託が余分な支出を作った、疑問がある。</p>	<p>① 企業局より履行確認を行っています。</p> <p>② 企業局より履行確認を行っています。</p> <p>③ 技術者の確保は、官民相互の重要課題と認識しています。</p> <p>④ 今回の包括委託以前より業務毎の個別委託が進んでおり、包括委託導入後においても水道事業に対する民間活用は以前と変わりありません。</p>